

# 共生社会実現に向け メタバース活用を具現化

公明党 鈴木ひでし

皆さまにおかれましては、健康やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和3年6月の県議会定例会で提言した、共生社会の実現に向けた「メタバース」の活用について、県で研究会が発足したことでご報告します。

## メタバースの可能性

「メタバース」は、今ニユースやTV番組で頻繁に取り上げられ注目を集めています。メタバースをネットワーク上のゲームの世界など、現実と異なる空間に存在する3次元の仮想空間です。「アバター」と呼ばれる自分自身の分身を表すキャラクターをコンピュータ上で創り、この仮想空間内

心身の制約など実際の困りごとに対してメタバースの活用がどのような効果をもたらしているのか等、それぞれの立場から期待や提案、課題などが話し合われました。

他のアバターとコミュニケーションをとることができます。例えば、自分の好みに合わせて美少女や羽ばたいた鳥や強靱なロボットにもなれるなど、メタバース上では現実と異なるもう一人の自分になって特別な体験ができます。

## 研究会」の開催

昨年12月23日に県は「第1回ともいきメタバース研究会」を開催しました。

今後にも検討は続きますが、私は「ようやく誰もが社会に参加できる仕組みができた」という思いが、行政も取り残されることのないように注視し、社会課題の解決に向けた活用を適時に見極め、判断していくべきと考えております。

外出が困難な障がいのある方や引きこもりを経験されたことのある方、ほか、学識経験者、弁護士、ゲーム業界に精通し、私自身も以前、VR

非常なスピードで進化を続けるテクノロジーの世界に対し、私は、行政も取り残されることのないように注視し、社会課題の解決に向けた活用を適時に見極め、判断していくべきと考えております。

私自身も以前、VR

て、未来を見据えた施策を研究、提案していくことが重要です。今後も積極的に最先端の技術に触れ、学習を重ねながら「ともに生きる社会」の実現のために、引き続き働きかけてまいります。



モットーは「まかせて安心！  
いのちと生活を守る！鈴木ひでし」。

第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団長などを歴任。現在、産業労働常任委員会、次世代育成・デジタル戦略推進特別委員会

